

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	安全・安心に暮らせる地域づくり		
施策	①交通安全対策の推進			
(施策の小項目)	○交通安全環境の整備			
主な取組	交通安全施設等整備事業		実施計画 記載頁	128
対応する 主な課題	○交通安全対策として、信号機をはじめとする交通安全施設の整備が求められており、さらに、老朽化した信号機や道路標識、消えかかっている道路標示等の更新についても充実強化する必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	道路における交通の安全と円滑を確保するため、交通信号機の新設・改良・更新、交通管制システムの充実・高度化、管制エリアの拡大及び信号機の集中制御化、高度道路交通システム(ITS)の整備、道路標識(規制標識及び指示標識)、道路標示(横断歩道、停止線等)の新設・更新に取り組み、交通安全環境の整備を推進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	交差点信号機の集中制御化				789基 (累計)	→	県
	交通信号機、道路標識等の新設・更新等						
	交通管制システムの高度化						
担当部課	警察本部交通部交通規制課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況					(単位:千円)
平成26年度実績					
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源	
交通安全施設費	1,557,033	1,537,250	■交通信号機の新設・改良・更新 ■交通管制システムの充実・高度化 ■管制エリアの拡大及び信号機の集中制御化 ■高度道路交通システム(ITS)の整備 ■道路標識新設・更新(2,872本) ■道路標示の新設・更新(横断歩道50km・実線71km)	各省計上	
活動指標名			計画値	実績値	
交通信号機の集中制御化			789基(累計)(28年)	747基(累計)	
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成26年度取組の効果				
順調	■平成26年度中、56基の交差点信号機の集中制御化を行うなど、交通安全施設の増設及び更新等の整備により、交通の安全と交通の流れの円滑化を図った。				

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成27年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
交通安全施設費	1,599,931	■交通信号機の新設・改良・更新 ■交通管制システムの充実・高度化 ■管制エリアの拡大及び信号機の集中制御化 ■高度道路交通システム(ITS)の整備 ■道路標識、道路標示の新設・更新 ■信号機電源付加装置の整備	各省計上

(3) これまでの改善案の反映状況

交通安全施設の新設箇所(信号機新設14基)の早期整備及び獲得した予算を活用し、新設信号機、道路標識標示等の設置に伴う設計を外部委託するとともに事務の合理化を図り、老朽化施設の計画的な整備(灯器改良82式、道路標識2,190本、横断歩道77km、実線113km)を行う。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
交通事故死者数	45人 (23年)	36人 (26年)	39人以下	9人	4,113人 (26年)
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
交通人身事故発生件数	6,697件 (24年)	6,664件 (25年)	6,242件 (26年)	↗	573,842件 (26年)
状況説明	交通管制システムの充実・高度化、管制エリアの拡大及び集中化を図るとともに、交通信号機、道路標識等の新設・更新等を行い、交通人身事故発生件数6,424件(前年比△422件)と減少し、交通の安全と円滑化を図った。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・新設道路の供用により新たに必要となる交通安全施設を迅速かつ適切に設置するとともに、老朽化した既設の交通安全施設の更新を着実に実施する必要がある。
--

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・交通安全施設の新設箇所の迅速かつ適切な選定及び老朽化した交通安全施設を含む整備を計画的に行うための必要な予算確保並びに獲得予算の計画的な執行を行う。
--

4 取組の改善案(Action)

・引き続き、業務の外部委託等事務の合理化を図り、交通安全施設の新設、改良、更新を効率的に行う。
・引き続き、交通事故発生箇所の更なる分析等を参考に交通信号機を設置、交通安全施設種別の見直し、改善を図る。